

重要 電池式散水コントローラー 設置要領書/取扱説明書

①電磁弁に予め取り付けられている黒の配線は、コントローラーの黒のコードへ。赤のケーブルはコントローラーの赤のコードへそれぞれ結線してください。

【注意】配線は、樹脂電磁弁やコントローラーにあらかじめ取り付けられている同じ色のコードを結線すること。

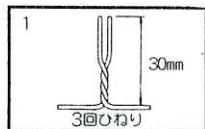


●コントローラーから電磁弁までの距離と使用する配線径

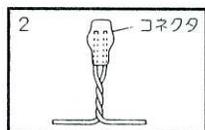
- ・80mまで・・・0.5SQ
- ・150mまで・・・0.8SQ

●ご家庭など簡易にセットする場合には同封のコネクタを使うと簡単にセットできます。

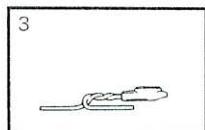
結線用スコッチロックコネクタは被覆むきが**不必要**で、腐食防止、防湿、絶縁効果があります。



結線する2本の端を3回ひねり、両端をハサミで同じ長さになるように切りそろえる。



芯線をコネクタの奥まで差し込む。挿入具合を裏側の透明部分で確認する。



圧着工具又はペンチでキャップが本線に隠れるまで完全に押し込んだ後、圧着して、振り戻さずに倒す。



②電磁弁の取り付け向きに御注意ください。水の流れる向きと、電磁弁本体側面にある流れ方向表示「→」の向きを合わせて、配管に接続してください。

③配線・配管が終わったら(最後に!)電池をコントローラーにセットしてください。やり方は下記参照。

電池をプラス・マイナスを入れ間違えないようにする。

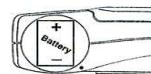
電池用のケースは気密性を保つため硬いことがあり、そのときはペンチで軽く挟んで回す。



ふたを開けるとき
時計回りに45度



ふたを閉めるとき
時計反対回りに45度



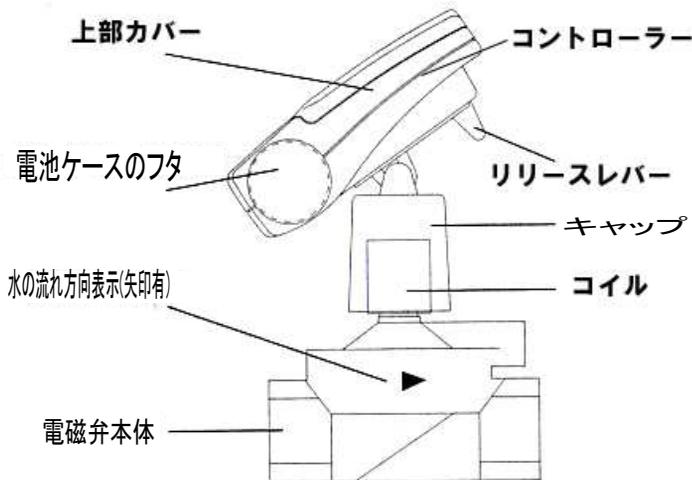
電池は+極をフロントがわに向ける

<注意> 初期通水時に電磁弁が“開”にならず“閉”から始まるよう、電池を入れた時点で自動的に“閉”の指令が電磁弁に発信されるので電池は**最後**に入れる。

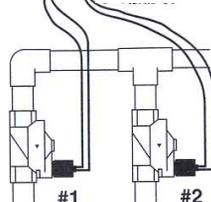
●電磁弁とコントローラーのセット(組立例)、他に壁掛け用のパーツ(板も入ってます) 壁掛型

■タイマーを電磁弁のコイルの上にセットする。

注:下記の方法は専用の樹脂電磁弁のときに可能です。バルブボックス内に設置する場合には水没しないように注意。



※SC-2型の場合、SC-1は1チャンネル、電磁弁1ヶ必要です。SC-4は4チャンネル、電磁弁4ヶ必要です。

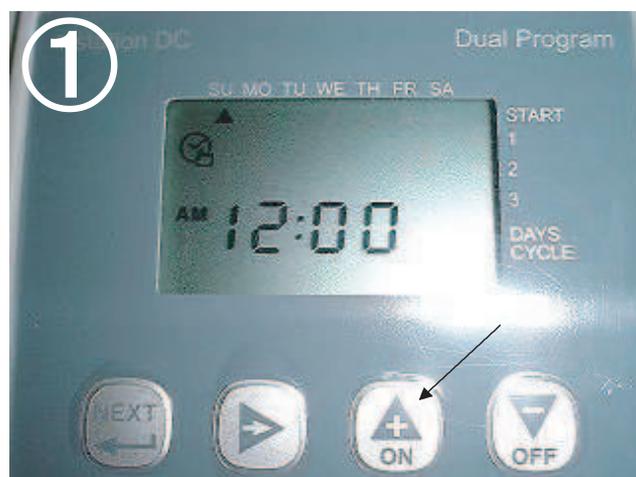


※本器は、防滴仕様ですが、ボックスに入れるなどして雨などにさらされないようにご使用ください。

電池式散水コントローラー取扱説明書



散水時間設定後の画面(散水時間1分間)
 <NEXTを押す>



電池を入ると写真の画面が表示されます。
 プログラム入力最初の画面です。
 ONボタンを押して現在時刻にセットする ※AM/PMに注意。



散水曜日の設定を行う。散水する曜日をONを押して▲にする。
 散水しない時はOFFを押して▲を消す。▶を押して行くと
 「デイサイクル」設定になる。1～14日までの「間隔散水」がで
 きる。(例:3日に1度散水をする等) <NEXTを押す>



NEXT(※1)を押し上記画面が出たらON(※2)を押して、散水時間
 (時刻ではない)を設定する(最大9時間59分)
 この時P1表示(プログラム1)を確認する。

2チャンネル(PC-2)コントローラーの場合

電磁弁を2つ接続した2系統(2チャンネル)モデルの場合は最初に左下に▽ (※3)の点滅が表示され、1番目の電磁弁の散水時間をセットします。次に▶を押すと▽の点滅が表示され2番目の電磁弁の散水時間をセットします。散水は1番目が終わると2番目が始まります。

散水時間を比率で10～200%増減する方法

画面で▶を数回押すと「100」と表示されます。これは設定してある時間の100%を散水するという意味です。これを10%～200%の間で増減することが可能です。特に必要なければ「100」のままにする。



P II 入力を飛ばして何度かNEXTを押すと上記画面になる。この画面の時ONを押すと即散水を開始する。散水時間はあらかじめセットしておいた(②参照)時間を経過すると自動的に終了する。もし強制終了したい場合は、OFFを押す。(※2ステーション(PC-2)コントローラーの場合は、リレー散水しません。 <NEXTを押す>



散水開始時刻の設定。ON・OFFにて散水を開始したい時刻を入力する。この時P1の表示を確認する。(P II は入力無効) AM/PMの表示に注意。 <NEXTを押す>



ひと通り入力が完了した時、通常時はこの画面にしておく。



AM10時散水開始の設定画面。1日3回までの開始時刻が設定できる。(NEXTボタン) <NEXTを押す>



設定してある散水プログラムを一時的に休止する場合プログラムは消さずにOFFボタンを1度押すだけで休止できます。(AUTO画面にしてOFFを押す) 上記のアイコンが出たら休止中です。(復帰はON) 又、点滅したら要電池交換のサインです。

※一度セットした散水時刻をキャンセルする(OFFにする)場合はONとOFFボタンを両方同時に数秒押します

※1 P I とP II の2種類のつのプログラムを記憶出来ます。どちらのプログラムに設定しているのかこの表示には注意が必要です。通常はP I のみ使用します。

※P I とP II のプログラムをセットすれば1日最大6回開始時刻が設定できます。

(使用上の御注意)

- ①アルカリ乾電池9Vを必ずご使用ください。
- ②電磁弁とコントローラーは日常防水です。水中で使用したり雨水の多いところでは使用しないでください。
- ③凍結には御注意ください。(凍結破損は保障対象外)

「故障かな？」と思ったら、下記を調べてください。

◎水が止まらなくなった (3つの事にご注意)

- (1)コントローラーと電磁弁の結線を黒と赤を逆に結線している。(※表紙の①を参照)
- (2)コイル下のオレンジ色のレバーをバルブ本体中央に向けてセットされているか確認する。
- (3)電磁弁内部にゴミが詰まっていないか確認する。(下記参照)



オレンジ色のレバー

◎水が出ない

- ・電池切れを起こしていないか。液晶表示が消えてしまっていたり、電池交換警告表示が点滅していたら、交換する。
- ・水圧の低いところでは、納品されたときのままでは電磁弁が作動しない。場合があります。その場合は、**バルブハンドルを一度いっぱいまで締めこんだのちに、2回転開けたところ**に設定をやり直してください。



このハンドルです

■電磁弁内部洗浄のやり方

- ①プラスドライバーでねじを外す。ネジ



- ②内部のダイヤフラムを外す(内部のスプリングをなくさないように注意) ダイヤフラム



- ③内部を洗浄する。

- ④水の流れ方向の矢印の向きを確認し、ダイヤフラムをもとのとおりに戻す。



- ⑤元のように組み上げる。

【免責事項】

- タイマー・電磁弁の保証期間は購入日から1年間。弊社持ち込みによる無償修理のみとなっています。配管・ホースの接続不良・ゴミつまり・電磁弁作動不良等々などによる水道料金・植物被害など、いかなる損害も免責とさせていただきます。
- 電磁弁のゴミつまりによる作動不良は故障ではありません。お客様にて分解・洗浄して対処していただくか、有償にての対応となります。
- 凍結の破損は保証対象外です。水抜き・保温など使用には充分、お気をつけください。

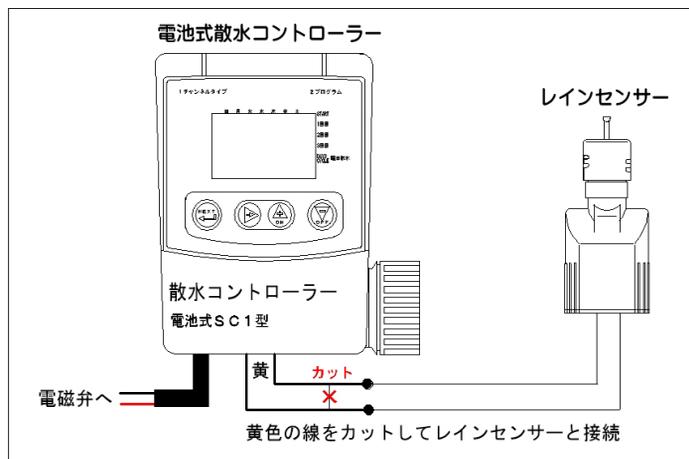


三光産業株式会社

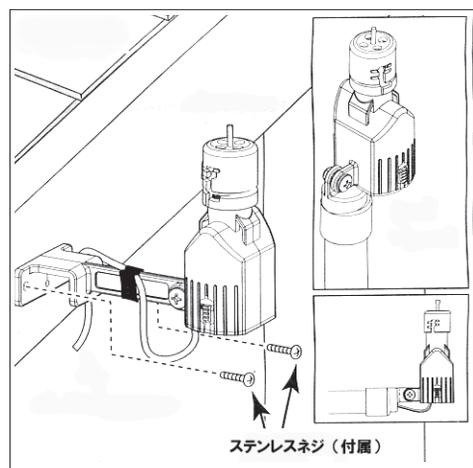
〒150-0062 東京都世田谷区等々力6-3-21
電話 03-3703-4554 FAX03-37034557
URL: <http://www.sprinkler.jp/>
E-Mail: info@sankosangyo.jp

電池式散水コントローラーSC型 用レインセンサー設置図・取扱説明書

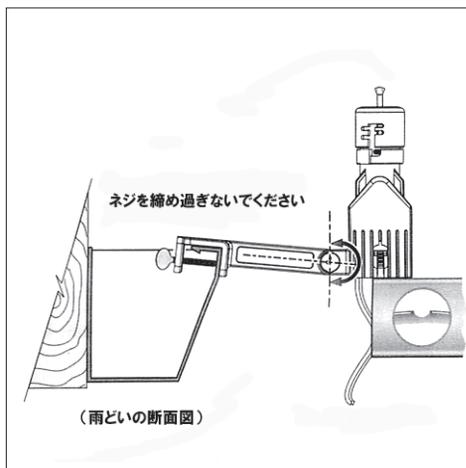
【レインセンサー設置図】



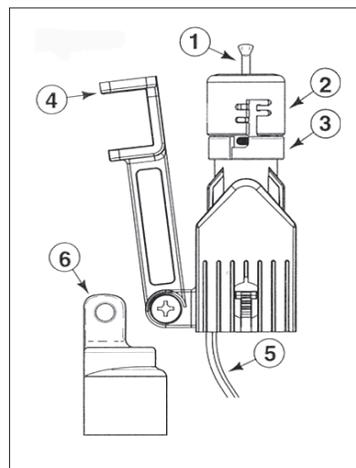
【A図】屋根横・パイプ上への設置図



【B図】雨樋への設置図



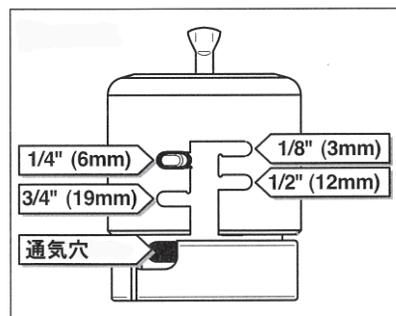
【C図】



■ 設置上の注意

- ・必ず雨にさらされる場所に設置する。
- ・必ず日光が常時当たる場所に設置する。
- ・付属のC図⑥キャップもしくはステンレスネジ・ボルトを使用してA図もしくはB図のように設置する。
※⑥の付属ソケットは、1/2インチ (13A) 塩ビパイプにかぶせてレインセンサーを装着する場合に使用します。
- ・C図④の取付マウントと、センサーは必ず垂直になるように設置してください。
②の部分が必ず上部になるように設置すること。
- ・C図③は通気穴です。リングをスライドさせて大きく開けておいてください。
- ・C図②のカバーを左右にずらし、希望の降水量 (mm) にてセンサーが反応するようにセットします。
※D図が拡大図。希望の位置にセットする
※湿度の高いところでは1/8 (3mm) での使用は避けること。
- ・C図①は、手でレインセンサーが反応するかをテストする際に使用します。押した状態が、センサーが反応しているとき (雨が降っているとき) の状態となります。
- ・C図⑤のケーブル長さは7.5mあります。延長する場合は最大30mまで。
1.25sqのケーブルをご使用ください。

【D図】



■ 使用上の注意

- ・100Vの電流を流さないでください。破損致します。
- ・センサー内には吸湿性のディスクが内蔵されています。ディスクが乾かなければ再始動することができません。センサーキャンセル機能はついておりませんので、センサーをキャンセルする可能性がある場合は、配線経路にバイパススイッチを設けておいてください。